

出前講座で消費者被害の未然防止へ 消費者教育研究会

消費者教育は、消費者問題や消費者被害を未然に防止することで、消費者のより豊かな暮らしを実現しようとするものです。私たち消費者教育研究会は、2006年から高齢者向けの出前講座を開催し、高齢者の消費者被害を少しでも減らしたいという思いで行って来ました。出前講座は、34回を数えるまでになりました。

<出前講座内容>

- ①契約クイズ
- ②最新消費者トラブル情報
- ③寸劇
- ④クーリング・オフの仕方
- ⑤お断りの仕方・替え歌
- ⑥質疑応答



<参加者に伝えたいこと>

- ・誰もが騙される危険性がある
- ・騙された人が悪いのではなく、騙す人が悪いことを理解する
- ・地域包括支援センター、デイサービス、消費者センター、警察に相談出来ることを知ってもらう

<地域との関わり>

- ・誰もが気軽に参加できる環境作り
- ・行政、地域住民、社会福祉協議会などが横断的に結びつく
- ・地域セイフティネットワークは誰もが気軽に参加できるような「緩やかな結びつき」

<コミュニケーションの取り方>

- ・「伝える」ではなく、「どう伝えるか」が大事
- ・参加する方の情報格差があることを認識する事が大事
- ・参加者によって、期待するものが違うことに、どう対応していくかが課題
- ・参加者に適宜質問して、参加意識を高めることは、理解を助ける上で効果的
- ・「経験」することで、記憶に残りやすくなる
- ・「楽しい」と感じる事が、記憶に残りやすい
- ・「楽しい」と感じることで、他人との情報共有をしやすい

<出前講座の今後の在り方>

- ・地域コミュニティ再生のツールとしての役割
- ・地域セイフティネットワーク形成の触媒としての役割
- ・消費者教育、生涯教育として、「いつでも」「誰でも」「楽しく参加」「経験」できるコンテンツ